

HORNETS' NEST

要塞

ようやう

■デラックスカラー

敵陣へ侵入する
米軍将校 ロック・ハドソン／意志の強い
美しいドイツのシルバ・コシナ／17人の子供たち
医師

憶えているか 故郷の空を

父が母が敵弾に散った朝……

あの空はまっ赤な色に染っていた！

戦場へ、戦場へ、幼い魂が

銃を背に走って行く！

故郷をはなれた敵陣の

巨大な要塞が

轟音と共に爆破されたとき

夕陽が真紅に頬をそめ

彼等の——幼い臉には——

母の顔がうつった！

ヒットパレード急上昇へユナイトレコード
音楽 エンニオ・モリコーネ／監督 鬼才フィル・カールソン



United Artists
ユナイテッド映画

30日(水)から全世界一斉ロードショー

団体鑑賞のお申込みは
ユナイテッドサービスセンター (832) 2967
ユナイテッド映画渉外部 (503) 6137

日比谷映画 (591) 5353

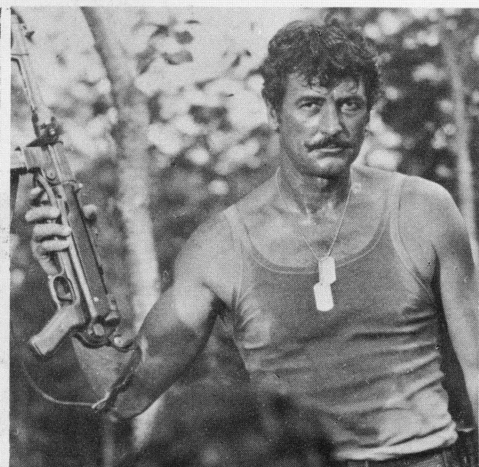
スタッフ

製作.....スタン・カンター
監督.....フィル・カールソン
撮影.....ガボール・ボガニー
音楽.....エンニオ・モリコーネ

キャスト

ターナー大尉.....ロック・ハドソン
ピアンカ.....シルバ・コシナ
フォン・ヘクト大尉.....セルジオ・ファントーニ
タウシグ少佐.....ジャック・セルナス
アルド少年.....マーク・コレアノ

少年の幼い瞳に浮ぶ
悲しい涙の抵抗—
戦争はイヤだノ
哀愁の調べと共に
胸にこみ上げる感動
忘れてはいけないノ



デラックスカラー

要

HORNETS' NEST

塞

ユナイト映画

巨大な鉄の要塞へ——銃を背に少年たちは走る！
遙かなる故郷を胸に——戦場に赤い夕陽が泣く！

第二次大戦秘話や戦記が続々と発表されて出版界にノン・フィクション・ブームを巻き起し、続いてこの本の映画化が盛んになされた昨年・今年にかけて戦争映画の花盛りとなったのです。

この映画も、第二次大戦中、イタリア戦線において、バルチザンを討伐するため一村の住民を皆殺しにしたナチス・ドイツに対して復讐を誓った十七人の子供たちの物語です。戦記作者S・S・シュバイツァー（地獄の艦隊）とスタンリー・コルバートが、この映画の重要な舞台となった北イタリアのポー・バレー周辺や、ポデンツァーノ村で起ったバルチザン大虐殺の事実を基に物語を書き、オスカー・ソールが脚色しています。

この地方がバルチザン活動の最も強烈だったところで、ナチス・ドイツの暴挙に対して生き残りの子供たちが銃をとるという設定はさして特異な状況ではなかったのです。少年隊はアメリカ破壊工作隊員の助けをかりて目的を達するが問題はここに存在する。極度の緊張と殺リクの場にさらされた少年と職業軍人の対立が痛ましく浮び上ります。主演は大型スター、ロック・ハドソン（大いなる男たち）

シルバ・コシナ（ネレトバの戦い）少年リーダーにマーク・コレアノ（心を繋ぐ六ペンス）が見事に難役をこなしています。

製作は独立第一作というスタン・カンター、監督は「サイレンサー」シリーズのフィル・カールソン、撮影は「想い出よ、今晩は」のベテラン、ガボール・ボガニー、音楽はイタリア映画音楽の雄エンニオ・モリコーネが担当しています。

第二次大戦中、イタリアの小村レアノートの住民はナチ親衛隊のタウシグ少佐の命令一下皆殺しにされた。誰もバルチザンの巢を教えようとはしなかったからだ。近くの丘に隠された三才から十四才までの十七人の子供たちだけが助かった。子供たちは家族が殺されるのを見ながら復讐を誓った。この地区に連合軍二万が進撃して来るが、デラ・ノルテのダムを要塞化したドイツ軍の反撃を阻止するためアメリカ陸軍の破壊工作員が送り込まれた。しかし、待ち受けたフォン・ヘクト大尉（セルジオ・ファントーニ）の為に工作員は次々と射殺された。ターナー大尉（ロック・ハドソン）は負傷して唯一人少年たちに助け出された。レアノートの少年たちのリーダー、ア

ルド少年（マーク・コレアノ）はドイツ軍野戦病院の女医ピアンカ（シルバ・コシナ）を誘拐しターナー大尉の手下をさせた。要塞ダムを破壊するのはターナー大尉の任務だ。彼は少年たちの助けを借りる代りに彼らの願いをいれて武器の扱い方を教えた。ピアンカは逃亡すれば殺すという子供たちの殺気に恐れをなし、行動を共にする事になった。ターナーと少年隊はダムの見える地点に到達した時、アルド少年はドイツ軍が駐屯するレアノート村の襲撃をまず第一にやらなければ、ダム爆破を手伝わないと云い出した。村は急襲されドイツ兵は皆殺しにされた。ダム襲撃は大成を納めた。しかしこの戦場で二人の子供が死んだ。一人は逆上したアルドに誤殺されたのだ。捕虜となったフォン・ヘクトをアルドは殺そうとし、止めようとする者にも銃を向けた。子供たちも彼の異常さに気付き、彼に背いた。ターナーは自分が少年に何をさせたか悟り愕然とした。連合軍が轟音をひびかせ進撃して来た。彼は少年たちを軍後方の「平穏」へと連れ戻した。少年たちのつぶらな瞳に涙が浮び、心はもう青い空と緑の故郷に飛んでいた。